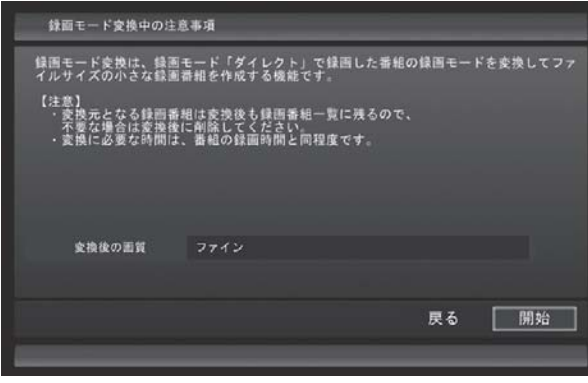
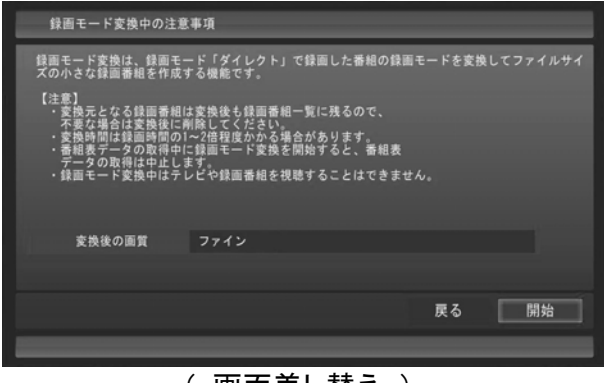
『テレビを楽しむ本』 正誤表

本紙では、本製品に添付の紙マニュアル『テレビを楽しむ本』に対する正誤表を載せています。
『テレビを楽しむ本』をご覧になる際には、以下のように読み替えてご覧ください。

●『テレビを楽しむ本』 正誤表

頁	（誤）	（正）
44	≪記載内容≫ **■ 番組表の受信について ー ●BS・110 度 CS・地デジダブルチューナーモデルの場合** 番組表受信に使用していないレコーダは通常と同じように使用できます。 次の場合は、番組表の受信ができません。 ・ 2 つの番組を同時に録画をしているとき 番組表を受信中は、次の動作をします。 ・ 番組表の受信をするレコーダがタイムシフトモードだった場合は、ライブモードに切り換わります ・ 番組表の受信をするレコーダのチャンネルが自動的に切り換わります ・ 番組表受信の経過が表示されます 番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。 ・ 番組表の受信をするレコーダのチャンネルを切り換えたとき ・ 番組表の受信をするレコーダで録画を開始したとき ・ 番組表の受信をするレコーダをタイムシフトモードに変更したとき	≪修正内容≫ **■ 番組表の受信について ー ●BS・110 度 CS・地デジダブルチューナーモデルの場合** 110 度CSデジタル放送の番組表は自動的に取得しない設定となっています。必要に応じて、自動取得する設定に変更してください。 次の場合は、番組表の受信ができません。 ・番組の録画中 ・録画モード変換中 ・画質変換をして光ディスク保存するとき 次の場合は番組表の自動受信はできませんが、手動では受信することができます。 ・録画番組の再生中 ・テレビ（タイムシフトモード、ライブモード）の視聴中 番組表の受信中に次の操作をおこなうと、番組表の受信が中断されます。 ・ 番組表の受信をするレコーダのチャンネルを切り換えたとき ・ 録画（予約録画含む）を開始したとき ・ テレビ（ライブモード、タイムシフトモード）の視聴を開始したとき ・ 録画モード変換を開始したとき ・ 画質の変換をして光ディスクへの保存を開始したとき
85	≪記載箇所≫ **■録画モードについてー●「ダイレクト」以外の録画モードに関するご注意** ・ このパソコンは 2 つの放送局の番組を同時に録画できます。ただし、録画した番組を録画モード変換しているときは、録画できる番組（放送局）は 1 つだけになります。 ・ 録画した番組を録画モード変換しているときは、「ダイレクト」以外の録画モードで録画することができません。	≪修正内容≫ **■録画モードについてー●「ダイレクト」以外の録画モードに関するご注意** ・「ロング」は予約時には選択できません。今見ている番組を録画する時にのみ選択できます。 ・ 今見ている番組を「ロング」で録画中に、予約録画が開始した場合、先に録画していた「ロング」での録画を中止します。 ・ 「ロング」で録画している間は、もう一方のレコーダをタイムシフトモードにすることができません。

853-810913-080-A

810913080A

頁	（誤）	（正）
87	≪記載箇所≫ **■ ダブル録画をおこなうときのご注意** ● 「ダイレクト」以外の録画モードで録画できる番組は１つ 2 つの番組を「ダイレクト」以外の録画モード（ファイン、ファインロング、ロング）で同時に録画することはできません。たとえば、すでに「ファイン」で録画予約している時間帯に、新たに「ロング」で録画予約をすることはできません。 ● 録画モード変換中、録画できる番組は１つ 録画モード変換機能を使っているとき、録画できる番組は１つだけです。 たとえば、録画済み番組を録画モード変換しながら、レコーダ１で予約録画しているとき、レコーダ 2 で視聴している番組を手動録画することはできません。 逆に、2 つのレコーダを使って異なる番組を同時録画しているときは、録画モード変換の機能を使うことができません（録画モード変換に必要な時間が、予約録画の開始時刻に重なる場合も含む）。 ● 録画モード変換中、「ダイレクト」以外で録画することはできない 録画モード変換機能を使っているとき、「ダイレクト」以外の録画モードで録画することはできません。 たとえば、録画済み番組を録画モード変換しているとき、録画モードを「ファイン」（または「ファインロング」や「ロング」）に設定して録画することはできません。 逆に、「ダイレクト」以外の録画モードで録画しているときは、録画モード変換の機能を使うことができません（録画モード変換に必要な時間が、「ダイレクト」以外の予約録画の開始時刻に重なる場合も含む）。	≪修正内容≫ **■ ダブル録画をおこなうときのご注意** ●「ダイレクト」以外の録画モードで録画できる番組は１つ 2 つの番組を「ダイレクト」以外の録画モード（ファイン、ファインロング、ロング）で同時に録画することはできません。たとえば、すでに「ファイン」で録画予約している時間帯に、新たに「ファインロング」で録画予約することはできません。また、予約時に録画モード「ロング」は選択できません。 ●録画モード変換中、および画質変換を伴う光ディスクの書き込み中は録画できない。 録画モード変換中は録画することができません。録画モード変換中に、予約による録画が開始された場合には、録画モード変換を中止します。 画質の変換を行って光ディスクに書き込みを行う場合、画質の変換中（録画モード変換中）に予約による録画が開始された場合、光ディスク書き込みを中止します。
88	≪記載箇所≫ **表の「録画モード変換との同時動作」の3行目** 『○』	≪修正内容≫ **表の「録画モード変換との同時動作」の3行目** 『×』

頁	（誤）	（正）
97	≪記載箇所≫ ！チェック ● 同じ時間帯に「ダイレクト」以外の録画モード（ファイン、ファインロング、ロング）で録画予約が入っているとき、新たに「ダイレクト」以外の録画モードで予約を入れようとすると、予約の重複の画面が表示されます。	≪修正内容≫ ！チェック ● 同じ時間帯に「ダイレクト」以外の録画モードである「ファイン」、「ファインロング」の録画モードで録画予約が入っているとき、新たに「ファイン」、「ファインロング」の録画モードで予約を入れようとすると、予約の重複の画面が表示されます。
102	≪記載内容≫ **予約するときの注意** ● 録画した番組を録画モード変換しているときは、「ダイレクト」以外の録画モードで録画することができません。	≪修正内容≫ **予約するときの注意** ● 録画モード変換中に予約録画が実行された場合は、録画モード変換が終了しますので、予約録画終了後に、再度、録画モード変換を行ってください。
130 ～ 132	≪記載内容≫ **番組を光ディスクに保存する** 1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする 2 リモコンの[テレビメニュー]を押す 3 「録画番組一覧」の「録画フォルダ」を選んで[決定]を押す : :	≪修正内容≫ **番組を光ディスクに保存する** すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、以下の手順で行ってください（フォーマット直後で何も書き込まれていない光ディスクに保存する場合は、変更前の左記手順で行ってください）。 1 SmartVision の右上にある「縮小ボタン」をマウスでクリックして、ウィンドウ表示状態にする 2 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする 3 約2分間待つ 4 リモコンの[テレビメニュー]を押す 5 「録画番組一覧」の「録画フォルダ」を選んで[決定]を押す （以降、項目の番号が元の番号から2つずれます。）
133	≪記載内容≫ ！チェック 画質を変換する場合、録画番組を光ディスクに保存している間は、録画モード「ファイン」、「ファインロング」、「ロング」での録画ができません（ダイレクトモードのみ）。	≪修正内容≫ ！チェック 画質変換を伴って録画番組を光ディスクに保存する場合、予測した保存終了時間内に録画予約があると、光ディスクへの保存はできません。
139	≪記載内容≫ **録画モード変換についてー■録画モード変換をするときの注意** ● 録画モード「ファイン」、「ファインロング」、「ロング」で録画を実行中は、録画モード変換できません。	≪修正内容≫ **録画モード変換についてー■録画モード変換をするときの注意** ●録画を実行中は、録画モード変換できません。

頁	（誤）	（正）
141	≪記載内容≫ **！チェック** ● 録画モード変換を実行中は、「ダイレクト」以外の録画モード（ファイン、ファインロング、ロング）での録画ができません。 録画モード変換の予測時間の間に、「ダイレクト」以外の録画モードでの予約がされている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで、操作してください。	≪修正内容≫ **！チェック** ● 録画モード変換を実行しようとした際、録画モード変換の予測終了時間までの間に、録画予約がある場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで、操作してください。
142	≪記載内容≫ 7 「録画モード変換中の注意事項」で変換後の画質を選び、「開始」を選んで【決定】を押す 録画モード変換中の注意事項 録画モード変換は、録画モード「ダイレクト」で録画した番組の録画モードを変換してファイルサイズの小さな録画番組を作成する機能です。 【注意】 ・変換元となる録画番組は変換後も録画番組一覧に残るので、不要な場合は変換後に削除してください。 ・変換に必要な時間は、番組の録画時間と同程度です。 変換後の画質 ファイン 戻る 開始	≪修正内容≫ 7 「録画モード変換中の注意事項」で変換後の画質を選び、「開始」を選んで【決定】を押す 録画モード変換中の注意事項 録画モード変換は、録画モード「ダイレクト」で録画した番組の録画モードを変換してファイルサイズの小さな録画番組を作成する機能です。 【注意】 ・変換元となる録画番組は変換後も録画番組一覧に残るので、不要な場合は変換後に削除してください。 ・変換時間は録画時間の1～2倍程度かかる場合があります。 ・番組表データの取得中に録画モード変換を開始すると、番組表データの取得は中止します。 ・録画モード変換中はテレビや録画番組を視聴することはできません。 変換後の画質 ファイン 戻る 開始 （ 画面差し替え ）
142	≪記載内容≫ 変換優先モードで録画モード変換が始まります。 **変換優先モードとは** 映像の表示を中止して、録画モード変換にかかる時間を短縮するモードです。 変換優先モードのとき、「映像表示を再開」を選んで【決定】を押すと、録画モード変換を続けながらテレビを見ることができます（録画モード変換にかかる時間は長くなります）。 変換優先モードに戻すときは、【サブメニュー】を押して、「変換優先モード」を選び、【決定】を押してください。	≪修正内容≫ 録画モード変換中はテレビの機能（テレビ視聴、録画番組の再生、録画、番組表の取得など）は使用できません。
188	≪記載内容≫ **ハードディスクから DVD へ保存する場合ー表中録画モード - 複数の音声が含まれる（ファインロング、ロング、高画質、標準画質、長時間、ジャスト画質）** あらかじめハードディスクに記録されている 2 つの音声のうち、1つを選択して保存できます。ダイレクトやファインから録画モード変換をするときに、どの音声を記録するかを選択できます。	≪修正内容≫ **ハードディスクから DVD へ保存する場合ー表中録画モード - 複数の音声が含まれる（ファインロング、ロング、高画質、標準画質、長時間、ジャスト画質）** ハードディスクに記録されている音声のうち、放送時に指定された1つを保存します。